



保健だより

2016年1月 浦西中学校保健室(上原)



インフルエンザ注意報発令中です。

那覇で、学級閉鎖がでるなどインフルエンザが流行しています。浦西中では冬休み明けから現在まで感染した人はいませんが、風邪症状での保健室来室者が増えています。インフルエンザは、咳やくしゃみによる飛沫感染が主な感染経路となっています。気温・湿度が下がってくると、インフルエンザウイルスの活動が活発になります。「咳エチケット」「手洗い・うがい」で感染予防に努めましょう。

保健室ではマスクの配布はしていません。各自で準備して下さいね



インフルエンザは「学校伝染病」に指定されており、**出席停止**(発症後5日、かつ解熱後2日経過するまで)となりますので、診断を受けたら必ず学校に連絡をお願いします。回復届出書の提出をもって、出席停止扱いとなります(裏面が指定の様式となります)

乾燥大麻所持容疑で18歳高校生逮捕



沖縄県警沖縄署は11日までに、使用目的で乾燥大麻を所持していたとして大麻取締法違反(所持)の疑いで、県立高校の男子生徒(18)＝同県嘉手納町＝を現行犯逮捕した。逮捕容疑は1月5日午後8時50分ごろ、同県北谷町の駐車場で大麻を所持していた疑い。沖縄署によると、駐車場にいた男子生徒を不審に思った警察官が職務質問して発覚した。同署は入手経路などを調べている。 <毎日新聞 2016年1月11日>

大麻や覚醒剤、LSDなどのドラッグに手を出す、中・高校生が増加しています。その多くはドラッグをファッション感覚で安易にとらえているようです。たしかに昨今、テレビや雑誌などにあふれるドラッグの情報は、興味や関心をあおり、あやまった印象を与えてしまうのでしょうか。

しかし、薬物乱用の本当の姿は、けっしてファッション(流行)のように一過性のもではなく、一生、**苦痛と後悔、悲しみがついてまわります。**

とくに中・高校生の場合、ドラッグが身体と精神の発達を止め、破壊していくため、大人の場合よりも短期間で重い症状が出る事が多く、取り返しのつかないこととなります。

もし、あなたがドラッグの使用を誘われても、決して手を出さない強い意志を持って下さい。もし友達が手を出そうとしていたら、どうか親や先生に相談して下さい。見逃してあげることは決して友情にはなりません。

夜遊び、万引き、タバコ、お酒...誘って、誘われて、流されて。手を出すほど自分の進むべき道が分からなくなります。将来を見つめ今をどう生きるべきか、しっかり考えることのできる中学生になろう!

